

彫刻家 上床 利秋

杉アトリエを創造の語らいの場に

若い頃、いろいろな美術館を観て歩くのが私は好きだった。最近では現在活躍中で知り合えた作家さんの工房を訪ねて歩くのが、これまた楽しい。多くの作家仲間の影響を受けて、自分のアトリエにも作品を生み出す為の工夫をして、設備を充実させてもらった。そうしていつの間にか一般の友人たちにもアトリエそのものに興味を持つ人が増えてきたように思う。

この度、時間をかけて杉アトリエを整備したのをきっかけに、フォークギター・ミニコンサート企画、開催を地元のギタリストに相談したところ、快く引き受けてくださった。お陰様で約20名の友人・知人が集まってくれた。楽しく、のほほんとしていて、あっという間に90分のコンサートは皆笑顔で終了。とても有意義な一日だった。

豪華な美術館で有名作品を鑑賞するのもいい。しかしまた、森の活きたアトリエで作品をどういう工程を経て創っていくのかをイメージ出来る場に浸るといいうのも、この上なく愉しいものである。それが玄人であろうとなかろうと。

単なるものぐさな自分だけの制作の場だったなら、どうせ男一匹だからと山中に500坪のアトリエなどつくらなかつただろう。でも、共に芸術を語り合える仲間が集える場とするならば、初めてのお客様にも居心地のいい場にしたい。そうして最後にはバイオトイレまでとうとう自分で頑張つて作り上げてしまった。これも自分の思いに共感してお手伝いくださった方々の協力の賜物だと感謝。

2024年1月



トイレは用を済ませた後におがくずをかけるバイオシステム。



1月21日 第三回杉アトリエコンサート
重菌博志フォークソングコンサート